

3D EMC Noise Visualization

3次元空間電磁界可視化システム

WM9500 narda



人体防護測定を、3次元で可視化

人体防護を目的とした低周波磁界測定のための国際標準 Narda S.T.S.社 ELT-400 を使用。ICNIRP人体防護ガイドラインとの相対値 (%)・磁束密度 (T) を3次元で色分けして、空間上に表示することができます。



3次元測定がEMCノイズ測定に革新をもたらす

—3次元空間電磁界可視化システム「WM9500 narda」誕生

画期的な手法、高精度3D測定

—ノイズ発生源を多角的に分析可能

「WM9500 narda」は、モーションキャプチャーカメラでELT-400の空間座標を検出することにより、被測定物から放射される空間磁界強度を三次元で色分けして表示することができます。

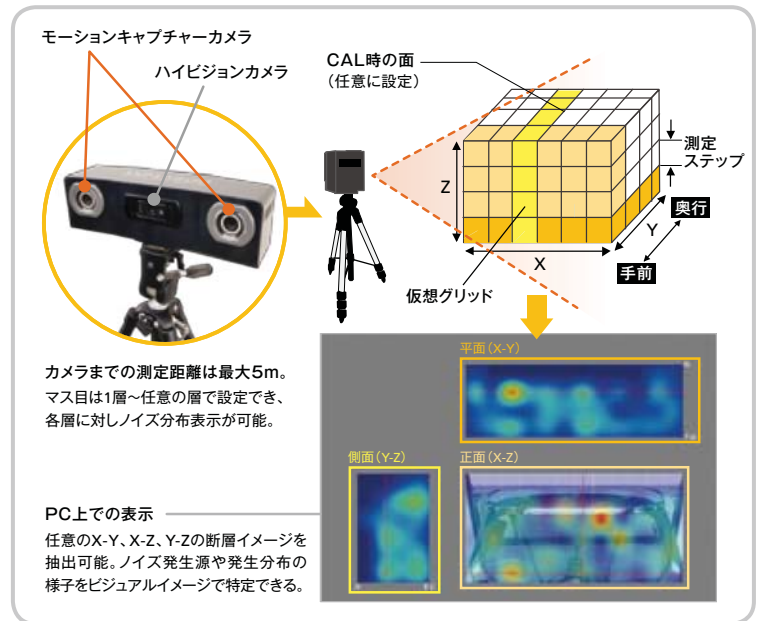
1. 専用の「カメラユニット」を設置。再現性の高いモーションキャプチャーカメラの測定エリアを、PC上のハイビジョンカメラ画像で確認しながら決定します。
2. ELT-400を測定したい箇所に当てて赤外線マーカを設定。測定エリアに1～数10cm³の立方体のマス目（メッシュ）を任意に切ることができ、アンテナを移動させるとPCに磁界強度マップが表示・保存されます。これによりノイズの発生場所、放射方向、周波数成分など解析に不可欠なデータを得ることができます。

特長

- ・ELT-400を使用したICNIRP人体防護ラインとの相対評価が可能
- ・モーションキャプチャーカメラにより、高い測定再現性を実現
- ・赤外線で座標を認識するため、測定現場の照度や対象物の色の影響を受けない
- ・自動車のエンジンルーム等、狭所や暗所での測定が可能
- ・周波数解析機能により、測定帯域幅を絞った評価が可能

主な仕様

測定範囲	推奨 約0.6m～2m (最大約 5m)、視野角56°
測定方法	赤外線反射式 (850nm) による空間座標取得
カメラ	オートフォーカス機能付きハイビジョンカメラ
測定位置精度	±1mm (推奨距離2m時)
測定ピッチ	最少1mm (制御用ソフトウェアの設定で任意設定可)
外観寸法	本体: W400×D109×H124 (mm)
	コントローラ: W320×D280×H94.5 (mm)
制御方法	USB2.0
入力電圧	AC100V～AC240V
最大消費電力	60VA (MAX) (解析ユニットは含まず)
センサー	ELT-400 (Narda S.T.S.社製)
解析ユニット	7904A-WM9500 (営電株式会社製)



WM9500 narda システム構成



— 製品のお求めは下記へ —

高山理化精機株式会社

本社・営業部	〒399-0033	長野県松本市笹賀5652-18	TEL: 0263-25-3111
長野支店	〒381-2241	長野県長野市青木町青木島乙265-1	TEL: 026-284-6111
佐久営業所	〒385-0025	長野県佐久市塚原980-15	TEL: 0267-68-2111
南信営業所	〒399-4511	長野県上伊那郡南箕輪村島居原8296-1	TEL: 0265-76-6111
北信営業所	〒329-0205	栃木県小山市間々田1290-2	TEL: 0285-41-1772
新潟営業所	〒940-2111	新潟県長岡市三ツ郷屋町字下川原341-9	TEL: 0258-28-7111
山梨出張所	〒400-0123	山梨県甲斐市島上条747-1	TEL: 055-269-9511
埼玉ランチ	〒355-0025	埼玉県東松山市幸町9-24 サンシャインビル105	TEL: 0493-81-3727